

# 茶病害虫防除情報

【第 6 号】

令和 7 年 9 月 1 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

来年産茶に影響し、発生源となる

## 第 3 世代「クワシロカイガラムシ」の防除対策

今回は充実した茶園を傷めるクワシロカイガラムシ第 3 世代発生の防除適期など防除対策をお知らせします。

### ☆ 今年の発生状況 … 発生量 少 発生時期 遅い

最近の本県におけるクワシロカイガラムシ発生は防除や天候、天敵などの影響のためか著しく減少し、枝条の枯死や生育が影響を受けるような大きな被害園は殆どみられない状況となっています。県病害虫防除所の 8 月の巡回調査結果では、第 2 世代虫の発生圃場率は 8%（平年 15%）でした。また、有効積算温度による各産地の第 3 世代ふ化最盛期の予測は、昨年および平年より「遅い」と予測しています。また、本会による産卵・ふ化状況現地調査でも、調査用寄生枝がほとんど確認できず発生が少ない状況でした。このため有効積算温度による予測、前世代のふ化最盛期、これまでの発生傾向などを勘案して大まかに各地域の予測をしました。防除適期(ふ化最盛期)は、早い産地が 8 月下旬、中間産地が 9 月初旬、遅い産地が 9 月中旬頃になりそうです。なお、この世代の発生は、これまでの防除の影響などでふ化最盛期がずれたり、ふ化時期の幅が広がったりしていますので注意しましょう。

### ☆ 防除対策

- ① 先ず発生状況を確認しましょう。芽伸びが悪いところ、新葉が黄化している株には発生している可能性があります。枝条に灰色で 2～3mm の丸い介殻か、白い雄繭殻はないか確認します。発生がみられる場合は、丸い介殻の着いた枝条を数本採取し、経済連、JA または地域振興局農政普及課などで幼虫のふ化状況を調べて適期防除をしましょう。
- ② 薬剤防除適期は幼虫ふ化最盛期から 5 日後頃までです。また、発生園も外週部など局部的発生の場合は額縁防除法などで、防除コスト削減を図りましょう。
- ③ 枝条に薬液が良くかかるよう十分な散布量（1000L／10a）を散布します。乗用型防除機を使用する場合、専用ノズルを用い、低速で 1 畦ごとに防除します。

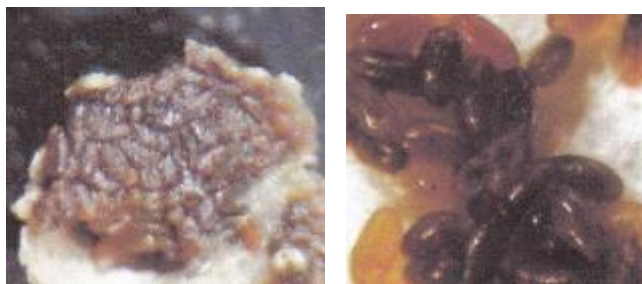
## 薬剤防除法

表1 クワシロカイガラムシ第3世代の薬剤防除法

| 防除時期                       | 防除薬剤           | 希釈倍数<br>(倍) | 使用基準    | 注意事項                                 |
|----------------------------|----------------|-------------|---------|--------------------------------------|
| 第3世代<br>幼虫ふ化最盛期<br>～5日後頃まで | アプロート・エースフロアブル | 1000        | 14日前 2回 | アプロート・エースフロアブルは第1世代防除に使用していない園で使用する。 |

## 耕種的防除法

畑かん地区での散水防除法は、産卵末期頃から幼虫ふ化定着期まで約2週間、日中のみ間断散水（10分散水、20分無散水）します。



散水防除法で死滅したクワシロカイガラムシの卵塊（宮崎茶業支場提供）

産地別のクワシロカイガラムシ防除適期（ふ化最盛期～5日）の目安

| 時 期  | 産地名                                                                                                                          | 防除適期 |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 早場産地 | 枕崎市鹿籠、志布志市志布志、志布志市有明原田、<br>鹿屋市高須・浜田、枕崎市中原・茅野、南九州市知覧南部、<br>南九州市頴娃中南部、志布志有明野神、鹿屋市東原、<br>錦江町大根占、南さつま市金峰 等                       | 8月下旬 |
| 中間産地 | 南九州市知覧中部、南九州市川辺、南九州市頴娃谷場・瀬谷・北部、<br>南さつま市東山、志布志市有明風八重・野井倉、出水市平和、<br>南九州市知覧中北部、旧茶業部、日置市伊集院・東市来、<br>鹿児島市松元、志布志市有明伊崎田、曾於市大隅・末吉 等 | 9月上旬 |
| 遅場産地 | 薩摩川内市入来・樋脇、さつま町、霧島市溝辺、曾於市財部、<br>南九州市知覧後岳、南九州市川辺清水、南さつま市鐵山、<br>霧島市牧園万膳・三体堂、湧水町栗野、伊佐市 等                                        | 9月下旬 |

※ 防除適期は同じ産地でもほ場によって異なります。このためこの情報は大きな目安とし、正確な防除適期はJAの茶営農指導員や地域振興局などに調べてもらいましょう。



クワシロカイガラムシ多発生・寄生状況



クワシロカイガラムシ被害茶園



雌成虫寄生状況



産卵・ふ化状況



ふ化幼虫定着